

JA全農ウィークリー
WEEKLY

2
面

JAと全農の協同運営店舗 「JA-CAT」2号店オープン（岡山県本部）

3面



(株)ミールワークスのタイ料理レストラン「mango tree」で提供している米麺の料理など(3面)



かわいらしいパッケージにもこだわった山形県産
果汁飲料新商品「ランラン♪ラララ」(3面)



岡山県鏡野町に開店した全国2店舗目の「JA-CAT鏡野店」(2面)

タイ料理レストランを展開する
(株)ミールワークスと資本業務提携（米穀部）

- 2

TACを対象に作物別
栽培技術研修開催(耕種総合対策部)

3

山形県産果汁飲料 新商品
「ランラン♪ラララ」を販売(山形県本部)

4

農産物栽培講演会で残留農薬の
検査に加え農薬の正しい理解呼びかけ
(営農・技術センター)

決意新たに 平成31年度入会式で
辞令交付(総務人事部)

5

家畜伝染病の国内への侵入阻止に
ご協力を(畜産事業部)

6

チビリンサッカー出場チーム決定
(広報・調査部)

7

畜産情勢(畜産総合対策部)

8

ダイソーと共同開発 国産果汁菓子シリーズ
12品新発売(くらし支援事業部)

「全国高校生農業アクション大賞」の
募集開始(広報・調査部)

JAタウンショップ紹介
越中自慢(JA全農とやま)

Web版JA全農ウィークリーは
こちらから 
<https://www.zennoh-weekly.jp/> 

県内小学校へ食農教材贈呈
(秋田県本部)

山梨県果実・野菜生産者大会を
開催(山梨県本部)

Web
限定
JR大阪駅みのりみのもる

**Web版JA全農ウィークリーは
こちらから**



<https://www.zennoh-weekly.jp/>

県内小学校へ食農教材贈呈
(秋田県本部)

山梨県果実・野菜生産者大会を開催(山梨県本部)

**JR大阪駅みのりみのる
マルシェで「宮崎の実り」開催**
(フードマーケット事業部・耕種総合対策部)

**Web
限定**

News!



JAと全農の協同運営店舗「JA-CAT」2号店オープン

岡山県JAつやまに信用・共済事業所も統合した支店併設型

岡山県本部

3月25日にオープンした「JA-CAT鏡野店」



同店は組合員の多様化するニーズに対応しJAの経営効率化を図るため、該当地区の4購買拠点を集約し、近隣の信用・共済事業所も統合した支店併設型の店舗です。

まが来店され地元からの期待の高さがうかがえました。今後もJA-CAT店舗の一層の活性化や店舗展開を進め、さらなる組合員サービスの向上と満足度向上を目指し取り組んでいきます。



開店初日からにぎわう店内

店舗概要

住所 岡山県苫田郡鏡野町円宗寺212

電話番号 0868(54)4611

営業時間 8:30~18:00 (木曜定休)

※「CAT」はCommunication plaza with Agricultural Toolsの頭文字

News!



TACを対象に作物別栽培技術研修を開催

群馬県本部の園芸作物生産実証農場でキュウリ、ナスをテーマに

耕種総合対策部

耕種総合対策部は、TACを対象に営農技術の強化を目指して、一昨年から作物栽培総合技術研修を開催しています。3月25~27日の3日間、群馬県本部の園芸作物生産実証農場でキュウリ、ナスをテーマにした栽培技術研修を開きました。

研修では、施設園芸作物の高品質・高収量化技術の習得を目的として、キュウリ、ナスの施設栽培技術に関する座学研修、実証圃場での誘引、摘芯、収穫などの栽培管理実習、選果施設などの視察をしました。

受講した群馬県JAはぐくみの佐藤匠さんは「今回の作物は当JA管内でも生産されており、習得した技術や知識を今後の業務に役

立てていきたい」と話し、栽培管理の仕方やポイントなど技術習得に励んでいました。

耕種総合対策部は、今後このような研修を企画して、担い手への営農支援や地域生産振興をリードするTACの育成をサポートしていきます。



キュウリの収穫作業



座学による研修



タイ料理レストランを展開する(株)ミールワークスと資本業務提携

「米麺」の国産原料の供給や商品開発・普及拡大で協力

米穀部

全農は、タイ料理レストラン「mango tree」などを展開する株式会社ミールワークスと業務提携契約を締結するとともに、同社株式の一部を取得しました。

(株)ミールワークスは、アジアの多くの国で食されている「米麺」を、独自技術により国産米、国産でんぷんを使用した100%国産での商品化に成功。同社運営レストランでの提供や、大手量販店での販売を予定しています。また、同社運営のレストラン「mango tree」などで提供する食材の多くは、農家との契約栽培によ

る国産農産物を積極的に活用しています。今後は、「米麺」の国産原料の供給や商品開発・普及拡大に向けて協力関係を構築すること、レストランで提供する輸入食材を国産に切り替えることを共同で進めることで、米と国産農畜産物の生産・消費の拡大、また、実需者ニーズを踏まえた契約栽培の取り組みの促進につなげ、農業者の営農の安定に貢献していきます。



「mango tree」で提供している米麺の料理など

(株)ミールワークスの
ホームページは
こちらから



山形県産果汁飲料 新商品「ランラン♪ラララ」どうぞ

第4回全国サクランボ研究大会に合わせて開発・発売

山形県本部

山形県本部の関連会社・山形食品株式会社（山形県南陽市）は3月14日、県産サクランボ「佐藤錦」と西洋梨「ラ・フランス」の果汁入り飲料「ランラン♪ラララ」2商品を発売しました。同日天童市で開催した第4回全国サクランボ研究大会に合わせて開発し、県内のJA直売所や道の駅で販売がスタートしました。

両商品はいずれも果汁20%を使用。「サクランボ」は甘酸っぱく、果肉をほお張った時のようなやさしい口当たり。「ラ・フランス」は、芳醇な香りと軟らかな果汁感が味わえます。

16日には、山形市のエスパル山形店「みのりみのるマルシェ」で、山形食品(株)の社員らが試飲を勧めPRしました。買い物に訪れた客は次々に受け取り「すっきりした甘さがおいしい」「ラ・フランスの香りが良い。かわいらしいパッケージが目に残った」などと好評でした。



かわいらしいパッケージにもこだわった新商品「ランラン♪ラララ」



好評だったみのりみのるマルシェでの試飲会

News!



残留農薬の検査に加え農薬の正しい理解を呼びかけ

JAならけん主催の農産物栽培講演会で講演

営農・技術センター

営農・技術センター 残留農薬検査室は3月17日、JAならけんが主催する農産物栽培講演会で「元気な野菜づくりと農薬」について講演しました。

この講演会は平成30年から開催され、今回で2回目です。講師は「NHK 趣味の園芸」でおなじみの藤田智教授（恵泉女学園大学）。今回は藤田講師の前に残留農薬検査室から「元気な野菜づくりと農薬」をテーマに講演しました。

残留農薬検査室からは、元気な野菜を作る上で農薬を正しく使うことは私たち



講演会には400人を超える方が参加

が元気に生活する上で薬を正しく使うことと同じであること、消費者の食への関心は「安全・安心」が最も高いこと、農薬の「安全」の取組みに農薬の適切な使用と農薬残留基準の正しい理解などがあり、こうした「安全」の取組みを地道に継続することで生産者と消費者の間で信頼関係が築け、消費者の「安心」につながることを話をしました。

残留農薬の検査だけでなく、今回のような講演や研修を通じて消費者の関心を生産者につなげ、生産者に農薬の正しい理解を深めることも重要な全農の業務の一つであり、今後引き続き「生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋」となれるよう、講演や研修などにも積極的に取り組んでいきます。

News!



全農職員としての決意新たに

平成31年度入会式で一人一人に辞令交付

総務人事部



新入職員一人一人に辞令を手渡す長澤会長㊤

全農は4月1日、平成31年度新規採用職員の入会式を行いました。長澤豊会長は新入職員一人一人の名前を呼んで激励しながら辞令書を手渡しました。

全農には今年、241人の職員が入会しました。長澤会長は、「皆さんには、全農の仕事に誇りと情熱をもって取り組みながら、さまざまなことにチャレンジをし、担当する仕事、分野においては、その道のプロとして農家が抱えている

課題を解決し、農家から感謝され、信頼される人材に育っていただきたい」と歓迎のメッセージを贈りました。

新入職員を代表して邊見江理さんと吉政弘基さんが、「地元福島農畜産物を福島県産だから買ってもらえるような、福島ブランドの育成に取り組みたい」「農家の方が生き生きと農業ができるようサポートし、将来自分とともに農業をしたい」という未来をつくりたい」と入会に至る動機を述べ、「全国各地に配属される仲間とともに、新人らしく明るく元気に日本の農業を盛り上げたい」と決意表明しました。

新入職員を代表して邊見江理さんと吉政弘基さんが、「地元福島農畜産物を福島県産だから買ってもらえるような、福島ブランドの育成に取り組みたい」「農家の方が生き生きと農業ができるようサポートし、将来自分とともに農業をしたい」という未来をつくりたい」と入会に至る動機を述べ、「全国各地に配属される仲間とともに、新人らしく明るく元気に日本の農業を盛り上げたい」と決意表明しました。

家畜伝染病が発生している国への 海外旅行には十分にご注意ください!

* 家畜伝染病の国内への 侵入阻止にご協力を *

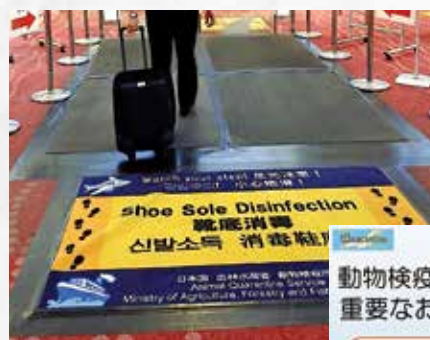
現在、世界各国で鳥インフルエンザ、口蹄疫、アフリカ豚コレラ、豚コレラなどの家畜伝染病が発生しており(※1)、また、平成30年8月以降、隣国の中国で132カ所、ベトナム211カ所、モンゴル11カ所(平成31年3月28日現在)でアフリカ豚コレラが発生しています。ゴールデンウィークには、海外旅行を計画している方も多いと思いますが、家畜伝染病が国内に侵入すると、地域の畜産生産基盤に大きな影響を及ぼします。

全農は、家畜伝染病の発生国への出張・研修は、原則として自粛しており、やむを得ず当該国・地域へ出張する場合は、家畜・家きんを飼育している農場や食肉・食鳥加工処理場などの畜産関連施設へは立ち寄らないこととしています。生産者、JA関係者の皆さまも、鳥インフルエンザ、口蹄疫、アフリカ豚コレラ、豚コレラなどの発生国へ渡航される際には、右表の注意事項を遵守するようお願いいたします。

なお、政府では、国内の豚コレラ拡大を受け、平成31年4月22日から海外からの肉製品の違法な持ち込みに対す

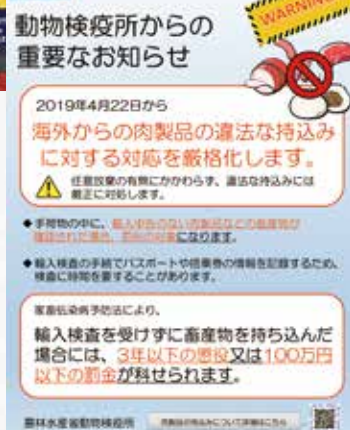
る対応を厳格化していますので、ご注意ください。

【畜産事業部】



空港内の靴底消毒マット
(出典：農林水産省Webサイト
www.maff.go.jp/aqs/topix/mizugiwa.html)

海外からの肉製品の違法な持ち込みに対する対応の厳格化に関するリーフレット
(出典：農林水産省Webサイト
www.maff.go.jp/aqs/topix/mizugiwa.html)



渡航中

- ① 畜産農家などの畜産関連施設、生鳥市場などへ立ち入りや、家畜・家きんに接触しない。それらの施設等に立ち寄った場合は、日本に到着した際に、税関検査場内の動物検疫カウンターに立ち寄ること。
- ② 未殺菌(加熱などをしていない)の鶏肉・卵・牛肉・豚肉・イノシシ肉などには接触しない。
- ③ 渡航中は手洗い、うがいなど通常の感染予防対策を行う。
- ④ 卵や肉製品(肉、餃子、ハム、ソーセージ、ベーコンなど)を国内に持ち帰らない。
- ⑤ 渡航中または帰国後に発熱、頭痛、結膜炎、発咳などの異常が認められた場合は、速やかに医師の診察を受ける。
- ⑥ 渡航中の行動(宿泊地、立ち寄り先、飲食など)を記録しておく。

帰国後

- ① 帰国時、空港などの入国審査場前で靴底と手指を消毒する。
- ② 帰国後72時間は畜産関連施設、飼料工場には立ち入らない。
- ③ 帰国後1週間は必要がある場合を除き農場の衛生管理区域(※2)に立ち入らない
- ④ 過去4カ月(養鶏農場の場合は2カ月)以内に海外で使用した衣服、靴を農場の衛生管理区域に持ち込まない。やむを得ず持ち込む場合は事前に洗浄、消毒などを行う。
- ⑤ 使用したカメラ、時計など小物類はできる限りアルコールなどで消毒する。

※1 農林水産省Webサイト(世界の畜産伝染病の発生状況)



※2 畜産農場において、病原体の侵入を防止するために衛生的な管理が必要となる区域



JA全農杯 全国小学生選抜サッカー

全国決勝大会 (5月3～5日) 出場16チーム決まる

5月3～5日に横浜市で行われる「JA全農杯全国小学生選抜サッカー全国決勝大会」を目指し、各地で熱戦が繰り広げられ、出場する16チームが決まりました。ブロック予選に出場した全チームに、JA・経済連・都府県本部から、

豪華な副賞が贈呈され、選手を含めた来場者に国産農畜産物をPRしました。5月3日から日産フィールド小机で予選・準決勝が行われ、5日に夢の舞台「日産スタジアム」で全国の頂点が決まります。【広報・調査部】

各地区の優勝チーム

北海道地区



北海道コンサドーレ札幌U-12A(北海道)

東北地区



ベガルタ仙台ジュニア(宮城県)

関東地区



鹿島アントラーズジュニア(茨城県)

北信越地区



グランセナ新潟FCジュニア(新潟県)

東海地区



名古屋グランパスU-12(愛知県)

関西地区



センアール神戸ジュニア(兵庫県)

中国地区



オオタFC(岡山県)

四国地区



丸亀FC(香川県)

九州地区



アビスパ福岡U-12(福岡県)

地区		全国出場チーム
北海道 (1)	優勝	北海道コンサドーレ 札幌U-12A(北海道)
東北 (2)	優勝	ベガルタ仙台ジュニア(宮城県)
	準優勝	青森福田SSS(青森県)
関東 (3)	優勝	鹿島アントラーズジュニア (茨城県)
	準優勝	川崎フロンターレU-12 (神奈川県)
	3位	鹿島アントラーズつくば ジュニア(茨城県)
北信越 (1)	優勝	グランセナ新潟FCジュニア (新潟県)
東海 (2)	優勝	名古屋グランパスU-12 (愛知県)
	準優勝	大山田SSS(三重県)
関西 (2)	優勝	センアール神戸ジュニア (兵庫県)
	準優勝	ディアブロッサ高田FC (奈良県)
中国 (2)	優勝	オオタFC(岡山県)
	準優勝	SSS FC(山口県)
四国 (1)	優勝	丸亀FC(香川県)
九州 (2)	優勝	アビスパ福岡U-12(福岡県)
	準優勝	PLEASURE SC(佐賀県)

[畜 産 情 勢]

(畜産総合対策部)



牛肉

GW向けの手当てで活気も

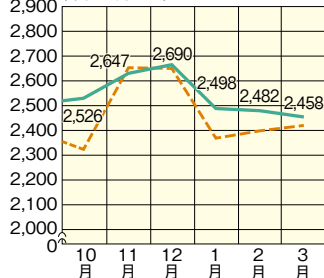
3月の成牛と畜頭数は、速報値で約8万1千頭(前年比96.8%)と前年を下回りました。

3月の東京市場枝肉卸売価格は、速報値で和牛去勢A5が2771円(前年比100.0%)、和牛去勢A4が2458円(同 101.6%)、和牛去勢A3が2250円(同 106.1%)、交雑牛B3が1605円(同 113.0%)、乳牛去勢B2が1043円(同104.1%)でした。

農畜産業振興機構が公表した4月の国内出荷予測頭数を品種別にみると、和牛が約4万頭(前年比99.6%)、交雑牛が約2万1千頭(同97.0%)、乳用種が約2万8千頭(同 99.6%)で、全体では約9万頭(同 99.0%)と見込んでいます。

3月の枝肉相場は、和牛を中心にやや弱もちあいの展開でしたが4月の枝肉相場は、ゴールデンウィーク向けの手当てが活発化し、相場は活気づいてくるものとみられます。一方で、和牛・交雑牛ともに市中には在庫があり、昨年との比較でみると、引き合いが弱いのではないかとする見方もあり、相場が読みづらい展開も想定されます。

牛枝肉相場(東京市場・和牛去勢A-4)
平成30年10月～31年3月
平成29年10月～30年3月
(単位: 円/㌔)



豚肉

下旬にかけて引き合い強く

3月の全国と畜頭数は、速報値で約134万頭、前年比94.2%でした。

3月の東京食肉市場枝肉相場は、速報値で478円/kg(前年比111.7%、前月比97.8%)となりました。

3月は散発している豚コレラなど、疾病の影響もありましたが、比較的高めで推移した気温を背景に、肉豚はおおむね順調な出荷を見せました。他方、需要面では季節背景も影響し、スライス材や、低級部位の動きも芳しくなく、全般的にそのことが相場に反映した形となり、月間平均では前月をやや下回る相場展開でした。

農畜産業振興機構発表の4月出荷予測頭数は約137万頭(前年比100.7%)と予測しています。

平成最後の月となる4月は、元号の改元と、最長10連休となるゴールデンウィークが目前に控えており、中旬から下旬にかけて、需要家による豚肉の引き合いは強くなるものと予測します。他方、供給面では昨年の猛暑の影響や、各種疾病の影響が出荷に対してじわりと出てくる時期にも差し掛かっており、これまで軟調に推移していた市況は夏場に向けて上昇に転じる見方が強くなっています。

豚枝肉相場(東京市場規格「上」)
平成30年10月～31年3月
平成29年10月～30年3月
(単位: 円/㌔)



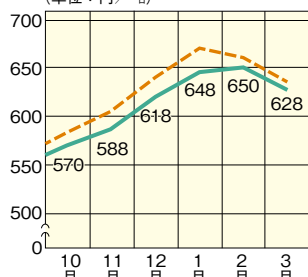
鶏肉

月平均でもも肉610円、むね肉240円

3月の平均相場は、もも肉628円/kg(前月比22円下げ)・むね肉238円/kg(同18円下げ)、正肉合計で866円/kgと前月比40円下げで、前年比でも76円の下げとなりました。3月は、北日本以外は気温も高めで、鍋物需要も影を潜め鶏肉の引合いも弱く、もも肉は大幅な下げとなりました。むね肉も、量販店などで安価な豚肉の出回りなどで特売需要が減少したことなどもありジリ安の展開となりました。

天気予報では、4月は北・東北地方が例年より気温が低めで若干の鍋物需要も期待できるため、前半はもちあい傾向となり、後半はゴールデンウィークも控え行楽需要も期待できることから大幅な下げは考え難く、もも肉は月平均610円と予測します。むね肉についても、下げ基調ではあるものの需要は底堅く月平均240円と予測します。

ブロイラー市況(もも肉・東京)
平成30年10月～31年3月
平成29年10月～30年3月
(単位: 円/㌔)



鶏卵

供給量増加で低水準の相場続くか

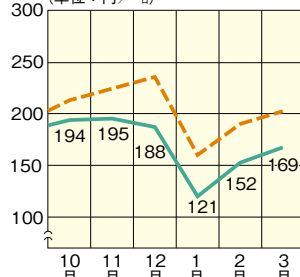
3月の東京相場の月間平均は、Mサイズ基準値169円(前年比△32円)となりました。3月は月上旬に1度上伸しましたが、中旬以降はもちあいの展開が続きました。

業務筋は、大手外食チェーンの鶏卵を使用したプロモーションの実施など好材料がありましたが、需給状況が大きく変化するような影響は見受けられませんでした。また、加工筋については、在庫水準が高い状態が続き、スポット購入の動きは限定的でした。テーブルエッグは量販店の決算特売により堅調な荷動きでした。

2月1日から成鶏更新・空舎延長事業が発動したことから、早期淘汰や誘導換羽などの生産調整を実施する産地も見受けられましたが、年末年始の生産調整からの産卵復帰や昨年の餌付け実績を考慮すると、供給量の大きな減少には至らなかったことが推測できます。

今後は、大型連休を控え、需要の盛り上がりにも期待できますが、4月1日から成鶏更新・空舎延長事業が停止したことで供給量も増加に転じることが予測され、相場も低水準が続くことが考えられます。また、大型連休中の休業などによって、産地在庫が増大すれば、連休後の相場展開に影響を与えることが予測できます。

鶏卵相場(東京・Mサイズ基準)
平成30年10月～31年3月
平成29年10月～30年3月
(単位: 円/㌔)



お断り 5月の畜産情勢は休みます。

国産果汁 菓子シリーズ12品

ダイソーと共同開発、
産地指定原料を使用

全農は(株)大創産業(ダイソー)と、産地指定の国産果汁を使ったグミ、キャンディ、ゼリーの菓子12品を共同開発し3月1日に発売しました。現在“100円SHOPダイソー”の全国約2500店舗で販売しています。【くらし支援事業部】

今回の「産地指定」国産果汁菓子シリーズは、フレッシュなおいしさと果汁感を引き出したゼリーやグミ、キャンディの計12品です。それぞれの果汁原料には、収穫している産地では生食で食べられているものの、全国的には広く流通していない「かぼす」や「日向夏」などの果汁を使用しています。

全農は、今回のシリーズ商品の発売を通じて、産地の知名度をアップするとともに、厳選した国産果実の魅力を全国の消費者にお伝えしていきます。

皆さま、ぜひご利用ください。そして“国産果実の美味しい旅”をお楽しみください。



新発売



「100円SHOPダイソー」で販売を始めた
国産果汁 菓子シリーズ

商品概要

シリーズ名「国産果汁」菓子シリーズ 全12品
内容量 40g(グミ)、57g(キャンディ)、110g(ゼリー)
希望小売価格 100円(税抜)
発売日 平成31年3月1日(金)
発売店舗 全国の「100円SHOPダイソー」各店

「全国高校生農業アクション大賞」の募集開始

【広報・調査部】

「第3回全国高校生農業アクション大賞」(主催:JA全中・毎日新聞社、全農が協賛)の募集が4月15日から始まり(6月30日まで)。高校生による農や食に関するプロジェクトや課題研究を審査し、認定されると支援金が助成されます。

詳しくはこちらから

JAタウン | 検索 クリック

越中自慢 (JA全農とやま)

富富富(ふふふ) (2kg×3)
5,000円

JAタウンはこちら

JA全農とやま「越中自慢」からご紹介するのは、平成30年秋にデビューした新品種の富山米「富富富」(ふふふ)です。

長年の研究成果によって、夏の猛暑にも負けず、病気にも強い、おいしいお米ができました。炊き上がりはつややかで透明感があり、口に入ると甘み・うま味が広がって、思わず「ふふふ」とほほ笑むようなうまさです。

作る人、届ける人、食べる人、すべての人のほほ笑みになりたい「富富富」。米どころ富山の自信作です。いっぺん、食べてみられ!

この他にも「越中自慢」では、富山県産のはと麦を使用したせんべいやクッキー、人気のとむぎ豆乳飲料、富山の特産品のかまぼこなども販売しています。

JA全農のインターネットショッピングモール ▶ご注文は <http://www.ja-town.com>
▶お問い合わせは shop@ja-town1.com

※本誌を通じていただいた注文などで取得した個人情報は、商品等の発送にのみ使用します。